



6月定例議会

”重い決断”鶴ヶ池荘 宿泊棟を取得へ

6月定例議会に提出された23年度一般会計補正予算案(第3号)の大きな焦点は、苦しい運営が続く鶴ヶ池荘の宿泊棟取得費用3億4千8百万円の可否でした。ポイントは”取得後、本荘に経営は改善するのか?”。しかし、本会議や委員会の質疑を通して、議会側が納得できるような答弁はきませんでした。それを踏まえ、6月23日の産業経済常任委員会で青山ゆたかは

「鶴ヶ池荘は地域の雇用にも貢献していることを考えれば、なくてはならない施設。しかし多額の血税を投入しなければならぬ事態となった今でも、今後の経営について納得できる説明がなされていない。(予算案の)再考を求めると意見を述べました。

そうした議会の雰囲気を受けて、



▲鶴ヶ池荘

最終日・6月30日の一般会計予算特別委員会(第50回)で五十嵐忠悦市長が「意識改革は必要不可欠。経営を安定軌道にのせるための最大限の努力を(経営陣に)強力に

求める覚悟だ」と発言し、理解を求めました。その後、開催された本会議では全員が賛成し、原案のとおり可決しました。

最終的に可決された理由には私を含めた多くの議員の「鶴ヶ池荘の倒産によって(起る)雇用の喪失、取引先の業績悪化によって、地域経済がますます疲弊することだけは避けねばならない」という思いがあったからです。しかしながら、ひとつの施設に多額の公的資金を投入する案を”可”とする決断を下した、私たち議員の責任も重いと感じます。



▲JR 横手駅工事

同日、全員賛成で可決された23年度一般会計補正予算案(第4号)をあわせた累計は532億5千万円です。

●横手地区中学校統合事業【3千2百万円】 横手北中の建築工事に係る杭工事等

●横手駅東西自由通路等管理費【1千4百万円】 横手駅東西自由通路の維持管理費

●道路橋りょう災害復旧費【7千3百万円】 6月23日からの豪雨による市内4ヶ所の市道路肩崩落等に係る復旧事業費

※4月19日の臨時議会では、提出された23年度一般会計補正予算案から、地震により天井の一部が破損した「わいわいばらざ」補修費用500万円を削除した議員提出による修正案を全員賛成で可決しました。また、22年度一般会計補正予算案(13号・14号)の専決処分を承認しました。

23年度国保税

一人当たり年税額 4.6%減に

昨年度、一般会計から法定外繰り入れを行った国保税。6月議会初日の「所信説明」で五十嵐忠悦市長はその決算状況について「繰越金が約4億8千万円となる見込み」とし、「今年度の国保税の算定にあたり、繰越金を全額歳入に組み入れる」ことを明らかにしました。

そして各調整の結果、今年度の税額は約7万3千円となり、率にして

4.6%の減額となりました。

今後もジェネリック医薬品の普及推進等による医療費節減や、取納対策を強化する等、国保税の健全化に向けて努力していかねばなりません。

国民健康保険税 一人当たり課税額
<医療給付分+後期高齢者支援金合計>

H21	H22	H23
73,120円	77,039円	73,458円

地域の発展に貢献

石山米男氏死去

議長職にあった石山米男氏が6月11日、逝去されました。石山氏は旧増田町長を5期19年務められた後、平成17年の市町村合併に伴う横手市議選で当選。2期目の21年11月に議長に選出されました。以降、「横手市議会の顔」として、精力的に活動されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

議長に塩田勉氏、副議長に奥山豊氏を選任

6月議会最終日の30日、石山米男議長死去に伴い空席となっていた議長に指名推選で塩田勉副議長を選出しました。また、副議長選挙を行い、奥山豊氏を選出しました。共に任期は11月10日までとなります。

☆副議長選挙(欠員1・欠席1)

奥山 豊氏 24票

鈴木勝雄氏 4票

※青山ゆたかは奥山豊氏に投票しました。

副市長に佐藤良吉氏

4月19日の臨時議会で空席1となっていた副市長に佐藤良吉・前総務企画部長を充てる選任案を全員賛成で同意しました。

佐藤副市長は山形大卒。昭和48年旧横手市役所入り。高速道路対策室で関係機関との調整役を担い、秋田自動車道建設に尽力される等の実績を上げられました。